

第 1 回新城市若者議会

令和 6 年 5 月 9 日（木）午後 7 時から午後 8 時まで
新城市議会 議場

開 会 午後7時00分

○牧野市民自治推進課長

市民自治推進課長の牧野でございます。議長が決まりますまで進行を務めさせていただきます。

ただいまから、令和6年度第1回新城市若者議会を開会いたします。

1. 辞令交付

○牧野市民自治推進課長

初めに、辞令交付を行います。委員の皆様お一人お一人に辞令を交付させていただくのが本意ではございますが、代表の委員に交付をさせていただきたいと存じます。ご了承願います。

それでは、代表して、梅田禪之助委員に交付させていただきます。梅田禪之助委員、正面にお進みください。

○下江洋行市長

梅田禪之助様

新城市若者議会委員を委嘱する。

任期は令和6年4月1日から令和7年3月31日までとする。

令和6年4月1日 新城市長 下江洋行

よろしくお祈りいたします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。なお、そのほかの委員の皆様におかれましては、それぞれ机の上に辞令をお配りしておりますので、ご確認をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

○牧野市民自治推進課長

次に、新城市長下江洋行からごあいさつを申し上げます。

○下江洋行市長

皆さんこんばんは。

本日、第10期若者議会の開催を迎えることができました。若者議会に応募してくださいました委員の皆さんに心から歓迎と感謝の

意を表したいと思います。

今、梅田委員に対して委嘱辞令を交付させていただき、他の委員の皆さんもお手元に辞令があるかと思いますが、これをもって皆さんは若者議会の一員となります。

さて、昨年度末であります。皆さんの先輩であります若者議会連盟の方たちが、私のところに「若者が活躍できるまちのさらに先を目指して」という内容で要望に来てくれました。具体的には3つございまして、若者総合政策の更新、そして質の高い政策提案ができるための事業のブラッシュアップ、そしてもう1つが若者議会が提案した事業を検証、評価できる仕組みの構築です。若者の皆さんがみずから声を上げて、このような要望を出してくださったことは私にとっても大変嬉しい出来事でありました。

2015年に始まりましたこの若者議会も今年度で10期目です。この10期という節目で、改めて若者が活躍するまちそして愛着を持ってもらい、若者の皆さんに選んでもらえるまちづくりをするには、どのような政策、事業が必要なのか、過去9年間、皆さんの先輩が検討してきたことも振り返りながら、第10期若者議会の皆さんにさらにアップデートしていただきたいと思っております。

また、一昨年度から市内の若者を対象にアンケートをとっています。これも若者議会の提案によって実施されているものですが、若者議会に手を挙げてくださった皆さんだけでなく、ぜひアンケートでいただいた意見等も参考にさせていただきながら検討いただけたらと思います。

皆さんにこれから、1年間一生懸命練り上げていただくアイデアを11月の答申でお聞きできることを楽しみにしております。皆さんのご活躍を祈りまして、私からの挨拶とさせていただきます。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

3. 若者議会議長選出、副議長指名

○牧野市民自治推進課長

次に、若者議会の議長を選出を行います。

新城市若者議会条例第5条第2項では、議長は委員の互選により定めることとなっております。

前もって議長立候補の申し出を受け付けさせていただきました結果、梅田禅之助委員から申し出がございました。梅田禅之助委員を議長に選出することについて、異議がなければ拍手をもってご賛同をお願いします。

(拍手)

ありがとうございました。

異議なしと認めます。

また、新城市若者議会条例第5条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、あいさつに続きまして、副議長の指名をお願いしたいと思います。

それでは、梅田禅之助議長、前の方へお進みください。

○梅田禅之助議長

第10期若者議会の議長を務めさせていただきました小坂井高校2年、千郷地区の梅田禅之助です。

まずは、第10期という若者議会の活動で1つの節目となる今年度、その活動に携われることについて感謝いたします。

昨年度も若者議会周知の事業案が答申されましたように、諸先輩方の活動により、市内、市外ともに多くの方々へ活動を認知していただけるようになりました。市民の方々に対するアンケート調査や他の若者が活動している団体との交流、そして若者議会のPR事業を通して、政策案のもととなる多くの要望や課題、若者議会のあり方のご意見をいただき、まだまだ新城市が若者にとって、地域で活躍できる住みやすいまちであるには課題が残るということも見えて参りました。それに加え、これからの新城市は若者が減少し、まちづくりを若者が行うというような活動を存続する

ことが厳しくなっていく未来があるのかもしれませんが、しかし、今期若者議会に参加した委員が各々自分たち、若者が住み、活躍できる新城市をつくり上げようという志を持ち、この場に立っていることは事実です。

私たちが今期提案する事業に思いを載せ、これまで積み上げてきたものを受け継ぎながら、私たちがこれからの若者議会、そして、新城市を形作っていけるように、今期1年、誠心誠意努力して参ります。

以上となります。ありがとうございました。

それでは副議長の選任をさせていただきたいと思います。副議長は木戸ゆめ委員にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。

それでは、木戸ゆめ副議長、一言ごあいさつをお願いします。

○木戸ゆめ副議長

ただいまご指名に預かりました木戸ゆめです。梅田議長を陰ながら支えるとともに、皆様にお力添えができるよう、精一杯努めて参ります。どうぞよろしくをお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。1年間よろしくお願ひいたします。

4. 諮問

○牧野市民自治推進課長

続きまして、若者議会の体制も整いましたので、市長から若者議会への諮問を行います。

それでは、梅田議長、よろしくお願ひいたします。

○下江洋行市長

新城市若者議会議長様

若者総合政策の実施に関する事項について
(諮問)

このことについて、新城市若者議会条例第2条に基づき、下記の事項について、若者議会の意見を求めます。

1 諮問事項 若者総合政策の実施に関する事項について

2 答申期限 令和6年11月29日

新城市長 下江洋行

よろしくをお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。

それでは、これから1年間、この諮問書に基づきまして、しっかりお取り組みいただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

これより新城市若者議会条例第6条第1項の規定により、梅田議長に進行をお願いいたします。では、梅田議長、よろしく申し上げます。

5. 所信表明

○梅田禅之助議長

それでは、所信表明を行います。

若者議会委員及び若者議会市外委員お一人ずつ所信表明をお願いしたいと思います。

初めに、橋本愛那委員、お願いします。

○橋本愛那委員

私は東郷地区に住む橋本愛那です。年齢は18歳です。アメリカ生まれで、高校1年生までロサンゼルスで育ちました。その後、黄柳野高校に転入しました。そして美しい自然と伝統文化が共存する新城市が好きになり、若者議会に参加させていただきました。

漠然とした案を皆とともに具体化していく体験は難しいことも多かったですが、とても貴重な体験となりました。しかし、昨年度は自分が望むほど議会に参加できず、とても残念に思っていました。再度若者議会に参加できたので、新城市をより魅力的にできるように、去年よりも頑張りたいと思っています。私は新城市で育ったわけではありませんので、まずはもっと新城市を知ることが大事だと感じています。今年度は、自分の足でたくさん歩いて、新城市を精一杯体感したいです。そして、去年とは違う視点で議会に取り組めた

らいいなと思っています。

どうぞよろしくをお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、加藤廉委員、お願いします。

○加藤廉委員

私は新城市に住む小坂井高校2年、加藤廉、年齢は16歳です。

私はこの若者議会に初めて入りましたが、この活動を通じて、新城市をより良く、また外部への発信もできたらいいと思っています。しかし、それらを考えるにあたって、新城市をより良くするために、新城市が現在どのような課題に直面しているのか調べてみました。調べてみた結果、新城市は現在、少子高齢化に直面しているのはもちろんのこと、消滅可能性都市ということがわかりました。たくさんある課題の中で、なぜこの2つを選んだかという、友人やSNSからよく耳や目にするからです。また、この2つには関連性があるのではないかと思ったからです。まずはこの2つの課題に焦点を当て、その他の課題に対しても他の委員の方々と議論を重ねていくうちに、この若者議会のメンバーがどういった政策を見据え、理想の新城市をイメージしているか、その部分も共有しつつ、この活動に一生懸命取り組みたいと考えています。

今回の若者議会は、私にとって初めての経験であり、この16年過ごしたこのまちの活動に携わることに緊張感を持っていますが、私の長所である、明るくみんなと話せることを生かして、みんなと情報共有をしていけたらと考えています。

1年間よろしくをお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、菅沼堅太委員、お願いします。

○菅沼堅太委員

私は鳳来地区に住む菅沼堅太です。年齢は16歳です。

私は去年の第9期若者議会に参加しました。

正直、私は若者議会はやわらかくなく、堅いイメージを持っていました。ですが、去年1年間やってみて、堅すぎず、やわらかすぎない雰囲気だったので、また参加したいと思ったので参加しました。

今回参加した理由としては、最近、自然災害が多く起こっているのので、1人でも多くの人に防災対策をしてほしいと思ったことと、日常生活でも気になる自分ではどうしようもならない有事の際、危険になるであろうところ、例えば道の駅もつくる新城の近くに大雨が降ると大抵土砂崩れが起きているところがあります。そういったところの対策等ができ、新城市が住みやすい市になる何かしらの対策ができればいいなと思ったので参加しました。

最後になりますが、1年間よろしくお願ひします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、城所英汰委員、お願ひします。

○城所英汰委員

私は富岡地区に住む城所英汰です。年齢は16歳です。私は今回初めての若者議会参加となります。

なぜ、参加をしようと思ったかという、自分が住んでいる地域をもっとよりよくしていける、そういった活動をするには自分がやろうにも1人だけの力ではできないけれど、若者議会では子どもたちの意見を尊重してくれると聞きまして、参加をさせてもらいました。

そして、私は若者議会では、自分が住んでいる地域を活性化できるように、自分はイベントを開催できるようにしていけたらいいと思っています。自分の住んでいるところでは、イベントはあまりやっけてなくて地域の人と交流が少ないので、もっと交流ができる場所を増やすためには、大きな行事などを行い、地域を活性化していけるように頑張ってい

たいと思いました。

これから1年間、未熟ですが、よろしくお願ひします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、柏木清吾委員、お願ひします。

○柏木清吾委員

私は新城地区に住む柏木清吾です。年齢は18歳です。私は地域と関わりを始めてから4年目、若者議会委員を始めて3年目になります。

私は毎年1年前の活動を振り返り、1つのテーマを決め、またその年度の新しい活動のテーマを決め、活動をしています。去年は交流というテーマをもとに、一昨年は観光というテーマをもとに活動をしました。今年のテーマは外との繋がりです。この外は市外のことです。このテーマを決めた理由は、ずっと前から参加しているユースカウンスルフォラムや富田林市との交流会、わかものまちなみサミットなどから得た思いです。この様々なイベントに参加して感じたのは、全国の自治体の中で参加した自治体が少なく、それに対してとてもよい活動をしている方や面白い考え方、知識の多さで団体を運営されている方などと話し、今とても関心深くなりました。そして、これらの経験から、今まで交流がない市とも交流していきたいと感じました。そこで、今年度は若者議会であらゆる面から他の市たちと交流したいと考えております。まず、今年度の若者議会では、まず市内の団体同士で定期的に交流する基盤を作り、そこで関係性を作りたいと思っています。その後、若者議会を通じて、市外と市内の団体の繋がりを作っていき、よりよいまちにしていきたいと考えています。また別の目標として、若者議会でも市外と関わる際、代表の代わりとして新城市若者議会を隔々まで語れるようになりたいと考えています。

これから1年頑張っていけますので、よろ

しくお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、峯田恵太委員、お願いします。

○峯田恵太委員

作手地区在住の峯田恵太です。年齢は21歳です。私は高校1年生の際に、第4期若者議会で初めて委員として携わりました。そして、第7期から第9期にかけてはメンターとして委員のサポートをしてきました。また、現在は若者議会OB、OGから構成される若者議会連盟の代表を務めております。そして、今期第10期では、若者総合政策の見直しを改めて行いたいと思い、再び委員として戻ることが決意いたしました。

新城市若者議会が始まってから10年、若者の声を市政に届ける取り組みは、日本中に大きな広がりを見せています。昨年度4月にはこども家庭庁が設置され、こどもまんなか元年がスタートしました。政府のこども・若者政策の基本的な方針であるこども大綱の中でも、若者会議を子ども・若者の社会参画の機会の1つと位置付け、活動のさらなる充実を進めていくような旨が述べられています。先進事例として、ここまで走り続けてきた若者議会の取り組みは、今まさに全国各地で浸透しつつあり、新城市が若者のまちとして認められるようになってきたことを誇りに思っています。一方で、将来にかけて新城市の維持存続については、依然として厳しい状況にあると認識しております。先日、新たに更新された消滅可能性自治体においても、依然として新城市は含まれておりますが、大切なことは、人口減少による規模の縮小は避けられない事実として受け入れた上で、それでも明るく前向きに過ごせるような地域にすることだと考えております。私は、新城市に住むすべての若者が新城市で生まれ育ったことを誇りに思えるような、そんなまちにしたいです。そのためには、あらゆる若者たちの思いや声

が市に届き、自分たちの手でまちを作り上げていく、実感が湧くような仕組みづくりが必要だと考えております。10周年を迎える今、若者議会や若者総合政策のこれまでの歩みを今一度振り返り、次の10年に向けて新たな1歩を踏み出す時だと考えています。私自身、今期の活動を通して、20名の仲間とともに成長していければと考えております。

1年間よろしくお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、熊谷空委員、お願いします。

○熊谷空委員

新城地区に住む熊谷空、15歳です。

まずは若者議会に参加し、15年間住んできたこのまちをより良くする機会をいただき、ありがとうございます。

私は若者議会の活動を通して、新城市をより魅力的なまちに、また市内外の人へもっと知ってもらいたいと思っています。そのために、新城市の魅力を詰め込んだPR動画やSNSなどを通して発信していくといったことをやっていきたいです。

また、今回初めての若者議会ですが、積極的に参加し、新城市をより良くできるよう頑張っていきたいと思います。

1年間よろしくお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、川合美緒委員、お願いします。

○川合美緒委員

私は鳳来地区に住んでいる新城有教館高校1年生の川合美緒です。

私が若者議会に参加した理由は、私自身は新城の田舎暮らしが気に入っていますが、若者の移動手段が限られることや学校帰りに集まったり、遊んだりできる場所が少ないことなどが改善されると、もっと新城好きになれると思ったからです。新城市は、若者が他の県に出て行ってしまったりして、少なくなっ

ています。新城市で若者が楽しく過ごせる方法を考え、新城の大ファンを増やしたいです。そして、私が将来も新城に住んでいたいと思えるまちにしたいです。

1年間よろしくお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、青木ことみ委員、お願いします。

○青木ことみ委員

私は鳳来地区に住む青木ことみです。年齢は15歳です。

私が若者議会に参加した理由は、友人に誘われ、YouTubeで動画を視聴した時、高校生の委員が堂々と意見を言っている姿に感動し、私も委員をやってみたいという気持ちが湧きました。今までの学校生活では、自分の意見に自信がなく、発言をためらうことがありましたが、この若者議会では、失敗を恐れずに意見を言い、積極的に活動に参加していきたいと思います。

若者議会でやりたいことは2つあります。1つ目は新城市の良さを知ることです。先月、準備会に参加したときに、若者議会が作成したしんしろイトコフォトマップを見ました。知らない観光スポットが多かったので、実際に行って見ることから始めて、どうしたらもっとPRできるかなどを考えていきたいです。2つ目は若者議会の存在や活動を同世代に知ってもらうことです。そして、同世代が困っていることや、こうしたいという思いを私が若者議会の話し合いの場で、様々な世代の方に聞いてもらい、より良い解決方法を考えていきたいと思います。

第10期委員として1年間頑張ります。よろしくお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、古瀬有菜委員、お願いします。

○古瀬有菜委員

私は東郷地区に住む古瀬有菜です。年齢は

18歳です。

私は第9期に続き、今期も若者議会に参加したいと思った理由は、地域活動にもっと参加していきたいと思ったからです。私にとって若者議会とは、学校とは違うところであり、しかし、アンケートなどを見ると、堅そうや難しそうといった意見が多く、私の考える若者議会とは異なっていると思っています。そのため、私は興味がある人たちに対して、あと1歩を踏み出せる勇気を後押ししたいと思っています。調べてみると、新城市には様々な地域活動があります。しかし、中学校を卒業すると、地域と関わるタイミングがなかなかありません。そのためなのか、同じ世代の人たちの地域活動への参加は少ないと感じています。私は地域活動があるのに自ら参加しないことも1つの要因だと思っています。そこで、私は参加したいと思っている人や参加したくないと思っている人もいますが、いろんな人にもう1歩を踏み出す勇気を持ってもらうようにしたいと思っています。そのために、私個人にできることは、自分自身がもう1歩を踏み出す勇気を持つことです。挑戦してみたい、参加してみたいという気持ちを大切に、様々なことに興味や関心を持ち、新城市をより良くしていけるよう活動していきたいです。

1年間よろしくお願いします。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、木戸ゆめ委員、お願いします。

○木戸ゆめ委員

私は千郷地区に住む木戸ゆめです。年齢は19歳です。

今期で10年目となる若者議会で、私は若者議会を見つめ、より良い組織にしていく活動をしていきたいと思っています。これまで3年間活動する中で、現状を理解し、ターゲットが必要としていることは何かを考えた上で政策を決めることの重要性を学びました。

そのため今期は、より良い政策づくりのために、若者議会と外部の繋がりを重要視したいと考えています。例えば、アイデアが滞ってしまった時にOG、OBに助言を求めやすい環境を作ること、まちを支える議員の方々の意見交換やターゲットの現状を知り、若者議会の認知も同時に広めることを目的とした市民との交流などです。政策としてではなく、今年度活動できることがあれば、積極的に取り組んでいきたいと思っています。特に市民との交流に関しては、若者議会の永遠の課題であった堅苦しいイメージを払拭させるため、そのために街へ出向くことが必要であると考えています。また、普段の委員会では、話しやすい雰囲気を作ることに努め、11月には若者らしい視点の政策を答申することができるよう、委員の皆と新城のために議論を重ねていきたいと思っています。

1年間よろしく願います。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、今泉明花委員、願います。

○今泉明花委員

私は千郷地区に住む今泉明花です。年齢は高校2年生の16歳です。

私が若者議会に参加しようと思ったきっかけは、新城市の知名度があまり高くないことを知ったからです。私は現在、岡崎市の高校に通っているのですが、クラスメイトに新城市出身であることを伝えても、ほとんどの人に聞いたことがないと言われてしまいます。しかし、新城市には自然を生かしたスポットや歴史的な観光地などアピールできる点が多くあると思っています。私はこの若者議会を通して、より多くの人に新城市の魅力を伝えていきたいです。具体的には、SNSを活用したPR活動です。現在の若者議会の活動だけでなく、若者の利用率の高いSNSに新城市の公式アカウントを作ることで、より高い効果を発揮できると考えています。

最後になりますが、新城市の課題について積極的に考え、行動を起こしていきたいです。

1年間よろしく願います。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

次に、塚田真央委員、願います。

○塚田真央委員

鳳来地区に住む18歳の塚田真央です。大学1年生です。私は初めての参加になります。

参加しようと思ったきっかけは、友人からの誘いと高校でパンフレットを拝見し、興味を持ち、参加させていただきました。私は大学でスポーツを学んでいるので、スポーツを生かした地域政策をできたらいいなと思っています。また、新城には様々な課題があると思いますので、その課題に1個1個向き合っていきたいと思っています。若者議会の委員さん方と一緒に意見交換をして、新城をより良いものにしていきたいと思っています。

初めてでわからないことがたくさんあると思うので迷惑をかけてしまうかもしれませんが、1年間どうぞよろしく願います。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

なお、杉浦拓明委員については、都合により欠席されています。

それでは、若者議会委員に引き続き、若者議会市外委員、所信表明をお願いします。

それでは、片桐萌絵市外委員から願います。

○片桐萌絵市外委員

広島県の東広島市に住んでおります、片桐萌絵と申します。年齢は19歳です。

大好きな新城市を離れて、これで1年が経ちました。私のように進学や就職をきっかけとして新城市を離れてしまう若者たちが新城市出身であることを誇りに思える、そんなまちにしていきたいというふうに考えております。市外委員として、少し違った視点から大好きな新城のことを改めて深く考える1年間

にしたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○梅田禪之助議長

ありがとうございました。

次に、小林倫市外委員、お願いします。

○小林倫市外委員

豊川市に住んでいます小林倫です。21歳の大学4年生です。

前年度に引き続き、今年度も若者議会に応募させていただきました。今回応募したきっかけは、前年度の活動で新都市をより良いものにするために話してきた経験を生かして、さらに新都市を前年度よりもより良いものにして、提案や意見を言いたいなと思い、今回も応募しました。

高校生のときから考えると、私はこれで6年、新都市と関われることをうれしく思うとともに、市外委員という役目をいただいたので、新都市のためにより良い提案や意見を出していきたいと考えています。新しいメンバーとなった第10期のメンバーの方と話し合いを重ねて1年をかけて、より良い政策を提案していきたいと考えています。また、私の母校は新城東高校で、最後の卒業生としてもしっかりと意見を出していきたいと思っております。

1年間よろしく願いします。

○梅田禪之助議長

ありがとうございました。

次に、府内宏樹市外委員、お願いします。

○府内宏樹市外委員

今期市外委員を務めさせていただきます府内宏樹と申します。都留文科大学の2年生で現在は山梨県都留市で生活しています。

私は、若者の政治的アパシーである現状を踏まえて、若者が政治に興味関心を持つことができる教育とは何かについて研究しています。先日、民間の有識者でつくる日本人口戦略会議が日本の地域別将来推計人口に基づき、人口から見た全国の地方自治体の持続可能性

について分析しました。2014年に消滅可能性都市に該当するとされた新都市は、今回の発表でも引き続き消滅可能性都市に該当されました。また、私が暮らしている山梨県都留市は、今回初めて消滅可能性都市に該当するとされました。都留市が消滅可能性都市に該当されたことは、大学の授業でも頻繁に取り上げられ、大学内、学生間及び市役所にも大きな衝撃が走りました。ただ、消滅可能性都市の定義である若年女性人口が半減すると地域の消滅を招くという考え方は、少々論理の飛躍があり、必ずしも地域が消滅するわけではありません。また、人口移動や出生率の推計については、まだ不確定な要素が多く、消滅可能性都市という表現は仮説であり、そもそも自治体にマルバツをつけるのはいかがなものかと思うところもあります。消滅可能性都市からの脱却を目指して取り組むのではなく、該当自治体が今後どのようなビジョンを掲げ、実行に移すのかが一番肝心なところであると考えています。私はこのビジョンの1つとして、住んでいる地域を自分ごととしてとらえることが重要であると考えています。先進的な取り組みである若者議会で、若者の声を行政が聞く仕組みについて、参加しながら学び、今後の地方行政のあり方について考えていきたいです。

よろしく願いします。

○梅田禪之助議長

ありがとうございました。

次に、四ヶ所壮汰市外委員、お願いします。

○四ヶ所壮汰市外委員

広島県広島市に在住しています四ヶ所壮汰と申します。年齢は25歳になります。

私が今回、若者議会に参加したきっかけとしては、大学院の方で新都市若者議会を含めた若者会議と若者議会というところを研究し、様々な地域の若者議会に関わってきました。その中で、私自身が委員として参加したという経験がなかったために、今まで外から見え

てきた若者会議と中から見た若者会議ということと比較したいという関心があったため、今回参加させていただきました。

私が参加する中で考えていきたいことは、主に1つでして、まずは新城市の若者総合政策が「若者が活躍するまち」をつくる上で、十分な政策になっているのかというところを考えていきたいなと思っています。若者議会が作られた10年前と今の状況では、他の地域も若者会議が増えてきていますし、また、この若者議会自体が今まで先進的な事例として取り上げられてきた中で、今後先進的な事例として、他の地域から見られるかというところは少し疑問を感じてるところもあります。また、この10年という節目を通して、若者議会がより良い事業になっていくように今回貢献していきたいなと思っています。

よろしくお願ひいたします。

○梅田禪之助議長

ありがとうございました。

なお、大山絢加市外委員については、都合により欠席されています。この20人で答申に向けて第10期若者議会一丸となって活動していきたいと思ひます。

6. 市議会議長あいさつ

○梅田禪之助議長

それでは最後に、大変お忙しい中、ご出席をいただきました新城市議会議長長田共永様からごあいさつを賜りたいと存じます。長田市議会議長、お願ひいたします。

○長田共永市議会議長

ようこそ議会へ。

きっと君たちは緊張していると思ひますが、私も緊張しています。肩の力を抜いて、少しお話を聞いていただければ嬉しいです。

今日、君たちが踏み出した一步は、決してこのまちにとって小さくない。自分たちが思っている以上の一步だと確信しています。そして、その一步が20人の仲間で、さらに遠

くに行けるよう、議会としても応援する。それを冒頭、お約束いたします。そんな中で、まず君たちにやっていただきたいのは、必ず若者議会に対して言う言葉があります。このまちには、皆さんご承知のとおり、新城市若者条例がある。そして、新城市若者議会条例がある。君たちがこの場にいるのも、その条例があるからです。この条例を必ず、必ず読んでください。委員の中に消滅可能都市がこのまちだと言われる委員の方がいました。それがどうした。このまちには若者議会があるじゃないか、君たちがいるじゃないかと胸を張って私は言えると、そんな若者議会にしてください。自然界の中で、強いものが生き残るわけではありません。変化できるものが生き残っています。全国で多くのまちがこの若者議会を参考にして、若者議会が各自治体で立ち上がってます。新城市若者議会は、その先駆者として変化をしてください。そして、君たちが本日読んだ所信を必ず家のどこでもいい、目の届くところに貼っておいてください。君たちの思いを必ず忘れないよう、そしてその夢が叶うよう、必ず目につく場所に置いてください。『希望の国のエクソダス』という本があります。少し前に書かれた本なんですが、その本の内容は、この国から近未来に若者が脱出すると、反乱を起こすという内容です。当時、多くの大人が熱狂したセリフがある。「この国には何でもある。本当に何でもある。ただ、希望だけがない」というその反乱を起こした中学生の言葉に当時の大人たちは熱狂した。私はそうではないと思ひている。希望というのは自分たちが作るものであって、君たちは今日それを所信で言ったのではないかと私は確信している。そのための手助けは必ずする。それは大人がするということです。若者は未熟ではないと私は思ひます。ただ、経験はないはずです。その経験をこの若者議会で、きっと補って、みんなで補って素晴らしい答申につなげていってくだ

さい。その助けは重ねて、議会としても各議員がそれぞれ応援したいと思っております。ある程度、計画が立ち上がってから、議会と、議員と話し合う時が来ると思います。その日を楽しみにしております。そして、甘くはないと言だけ言っておきますが、応援はします。

最後になります。個人的な議長からの諮問を何度も言うんですが、誰もその諮問に答えてくれませんので、改めて再度言いますが、私も君たちと同世代の娘がいます。時にLINEをブロックされるんですが、そのブロックをされないような方法をコソッと教えていただければと思います。

笑顔で、そして元気に、若者らしく、後ろを見ることなく、1年間通じて、第10期若者議会の健闘を祈り、議長からの挨拶とします。頑張ってください。

○梅田禅之助議長

ありがとうございました。

本日は大変お忙しい中、下江市長様、長田市議会議長様、お越しいただき、まことにありがとうございました。

また、若者議会のスタートに際しまして、議場を快くお貸しいただいた長田市議会議長様を始め、市議会議員の皆様、ありがとうございました。

私自身、議長ということで不安な点も多々ありますが、皆さんとともに今期1年、精一杯取り組んでいきたいと思っております。皆様、今後とも御指導の程、よろしく願いたします。

これをもちまして第1回新城市若者議会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午後8時00分